



ライオンとマレーグマが新居に引っ越しました！

今年の3月に新しい猛獣舎が完成し、ライオン2頭とマレーグマ2頭が無事に新しい住まいへ移りました。

引っ越しにあたっては、安全を考え麻酔をかける必要がありました。その際のストレスを軽減するため、ライオンにはしっぽから、マレーグマには前足から麻酔薬を注射するトレーニングを以前から実施してきました。その成果もあり、引っ越し当日は4頭ともリラックスした状態で眠りにつき、怖がることなく安全に移動できました。

新しい獣舎には、動物本来の生態が発揮できる工夫が施されており、動物たちの過ごしやすさを考えた快適な居住環境も整っています。新たな環境で元気に過ごす動物たちに、これからもご期待ください。



▲新しい獣舎でくつろいでいるライオンのデネブ



▲すいかを食べるマレーグマのサクラ

休園中の動物たちの様子や最新の情報はコチラから▼

リニューアル工事のため、動物園は休園しています

ホームページ



Facebook



X



Instagram



YouTube



とびだせ！市民レポーター！

南北に長い甲府の最南端「上九一色地区」を取材！

甲府市は南北に41.6kmと細長く広がる地形をしており、甲斐と駿河(静岡県)を縦に結ぶ3つの古道「河内路」「右左口路(中道往還)」「若彦路」が通っています。今回は「左右口路」沿いの、かつては関所も置かれていた上九一色地区を取材しました！

◆人々の信仰とともにある永泰寺

永泰寺は鎌倉時代の終わり頃、1324年に夢窓国師が再興したとされる臨済宗建長寺派のお寺です。市指定文化財の釈迦堂には、県指定文化財の木造釈迦如来立像が安置されています。清凉寺式釈迦如来像といわれ、首元までまとった法衣のひだが胸元で同心円を描くように表現されていました。普段は公開していないのですが、お釈迦様の誕生日である4月8日の「花まつり」の日にだけ御開帳されます。



▲永泰寺は今でも地元の人に親しまれるお寺

◆レトロモダンな旧上九一色郵便局

明治45年(1912)に建てられた旧上九一色郵便局は、昭和40年(1965)まで現役の郵便局でした。看板の文字は昔ながらに右から左へと表記されており、その上部には郵便マーク「〒」が彫られています。さらに見上げると、銅版製鬼瓦にも郵便マークが大きくデザインされています。オシャレでレトロモダンな建築物でした。



▲外観の各所に洋風の意匠が取り入れられた旧上九一色郵便局

◆地元のものを食べたかったらここ！ 上九ふれあい農産物直売所

上九ふれあい農産物直売所では、地元で採れた新鮮なお野菜がたくさん並んでいるほか、甲府之証(伝承)第1号である「くいしき味噌」も販売しています。上九一色地区で育てられた青大豆を原料に使用しており、購入して味噌汁で食べてみると、通常の大豆より脂肪分が少ないため、まろやかな味わいでした。併設されている農家レストランでは、季節のかきあげうどんなどの軽食を楽しめます。



▲「甲府之証」に認定されている「くいしき味噌」



▲ほどよく出汁がきいたつゆがおいしい季節のかきあげうどん



今月の担当レポーター 野呂 貴美恵

甲府市内を南北に縦断すると、気候も変われば文化も違うことを実感しました。上九一色地区は平らな土地が少ないため、農業よりも農耕用道具や下駄などを作る手仕事が増えたようです。

永泰寺の釈迦如来像やレトロモダンな郵便局。地元の方も、観光客も立ち寄りやすい農産物直売所。古き良き時代の残り香を、満喫させていただきました。

